

中国における森林資源と伐採に関する政策

2022年、中国の森林面積は2億3,100万ヘクタールで、世界第5位である。うち、人工林は約38%を占め、面積は約8,778万ヘクタールと、世界最大の人工林であり、人工林面積第2位の米国の3倍である。全体の森林面積は、人工林を中心に年率約1%の割合で増加しており、過去3年間（2021～2023年）の年間平均植林面積は380万ヘクタールであった。北部の針葉樹林は主に大興安嶺に、広葉樹林は主に小興安嶺と東北平原東部に、南部の針葉樹林と広葉樹林は東部沿海地域と四川盆地を除くほとんどの地域に分布している。

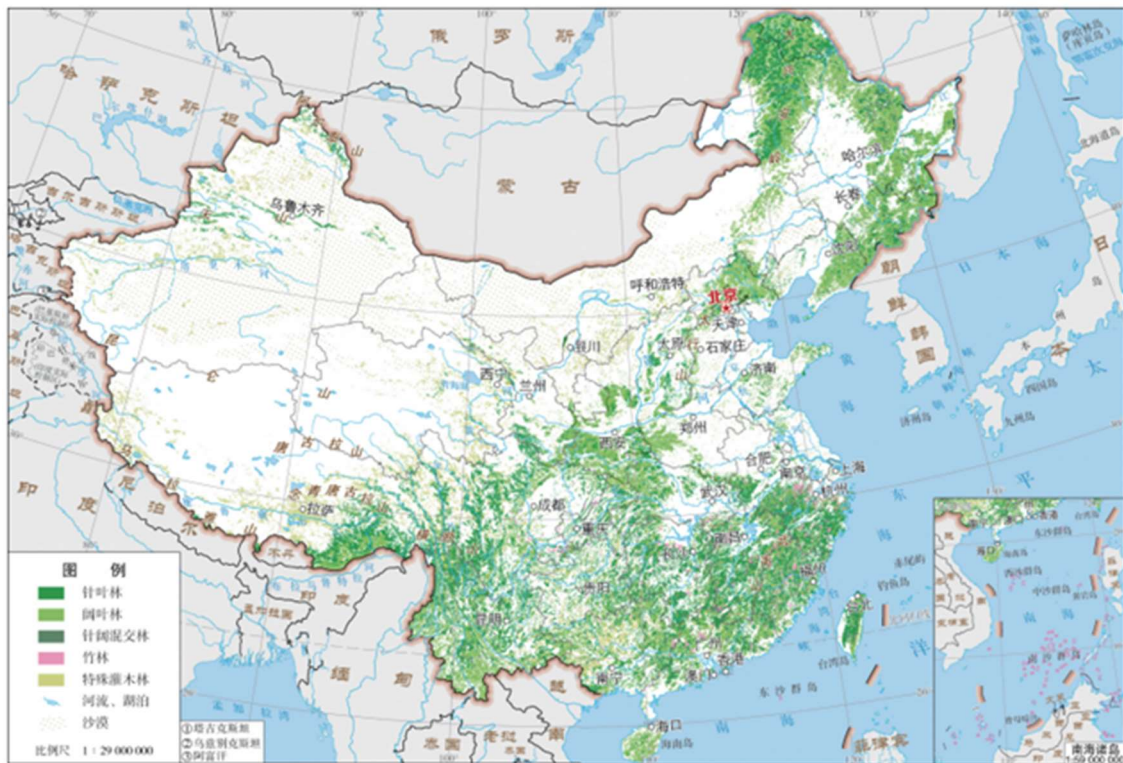


図 1 中国の森林分布図（国家林業・草原局より）



図 2 中国の森林面積（万ヘクタール）

2022年、中国の原木生産量は1億2,000万立米、うち針葉樹原木は約1,810万立米で17%を占める。1998年以降、中国は自然林を政策と法によって保護するようになり（表1参照）、自然林の商業伐採を順次停止してきた。現在、針葉樹原木の自国生産量は、国内の増大する需要を満たすことができないため、供給は主に近隣諸国からの輸入に頼っており、国内生産がそれを補っている。

表1 中国の林業関連政策

政策名	年次	部門	
「自然林資源保護事業」1期	1998	党中央、国務院	長江上流と黄河上・中流域の自然林の商業伐採は完全に停止され、東北部や内モンゴル等の重点国有林木材生産量は1102.1万立米に減少調整された。
「自然林資源保護事業」2期	2011	党中央、国務院	新規増加した森林面積は7800万ムー。東北部・内モンゴル等重点国有林木材生産量は402.5万立米に減少調整された。
「13次五か年計画」提言	2015	党中央	「自然林保護制度を改善し、自然林の商業伐採を完全に停止し、森林の面積と蓄積量を増やす」
中央1号文書	2017	党中央、国務院	「自然林商業伐採完全停止のための補助金政策の改善」を実施。全国有自然林を伐採停止補助金の対象とし、非国有の自然商業林を段階的に管理と保護のための補助金対象に含める。
新「中国森林法」	2020	第13期全人代常務委員会	第32条「国は自然林全面保護制度を実施し自然林の伐採を厳しく制限する」と明確に規定。第54条「国は森林の年間伐採量を厳格に管理し」伐採割当を実施する。第56条「林地の材木伐採には伐採許可を申請しなければならない」

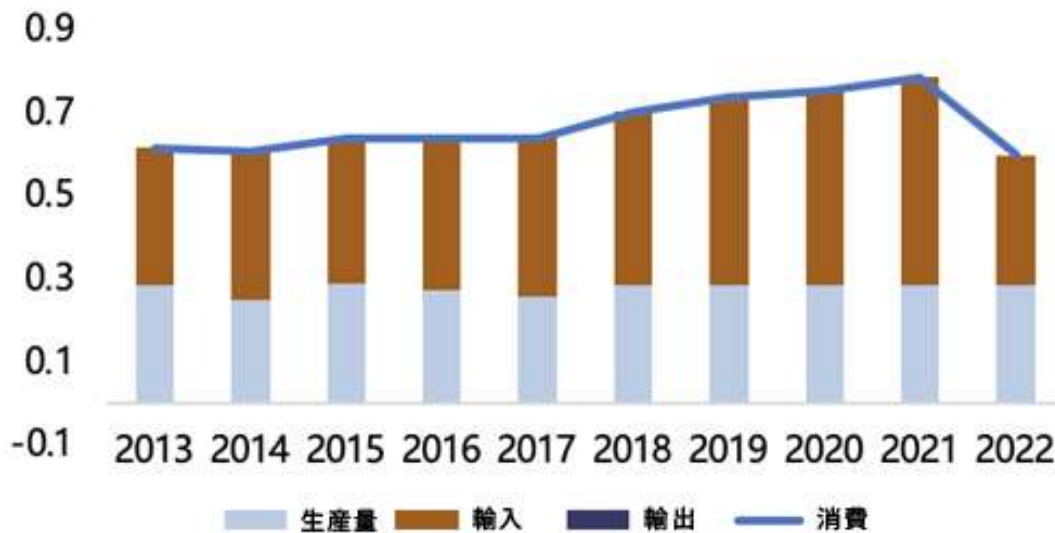


図3 中国における産業用針葉樹原木の需給 (億立米)

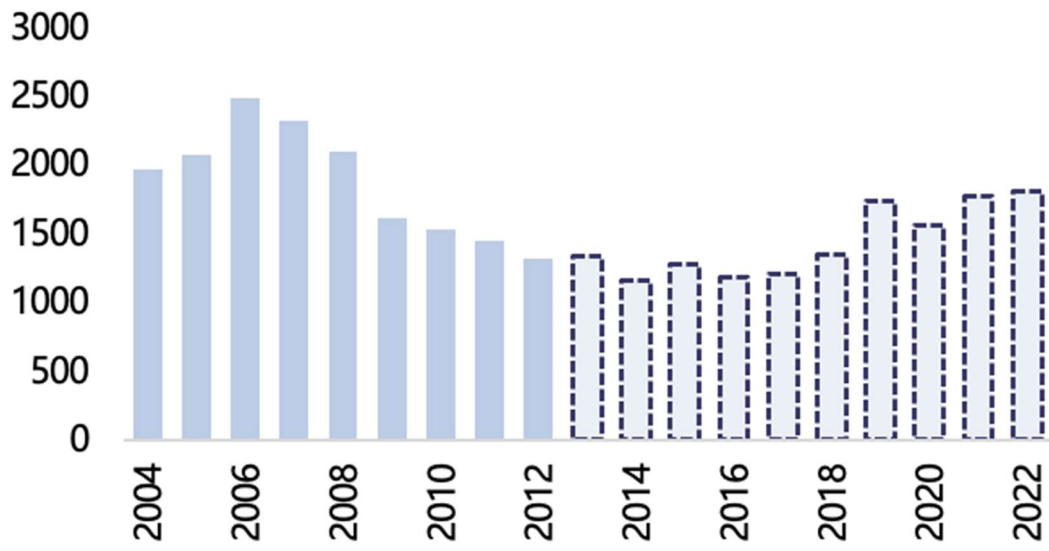


図4 中国の針葉樹原木生産量（万立米）